

医療現場における

調査 研究 倫理 ハンドブック

著：玉腰暁子・武藤香織／医学書院

定価：2,100 円(本体 2,000 円＋税)／TEL：03-3817-5657

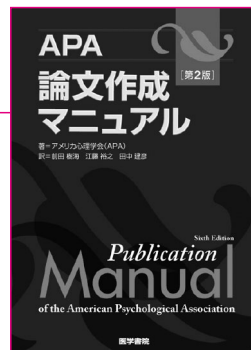
■「調査や研究は、どんなことに気をつけて進めていけばいいのだろうか。この本は、そんなことを思ってたずんでいる人たちのためにまとめたものである」(「はじめに」より)。医療や看護、介護といった“人”を対象にした学問領域で研究をするとき、避けては通れないインフォームド・コンセント。インタビューや介入などの調査において扱われなければならない“倫理的配慮”をわかりやすく伝える。

APA 論文作成マニュアル

著：アメリカ心理学会(APA)／訳：前田樹海・江藤裕之・田中建彦／医学書院

定価：3,990 円(本体 3,800 円＋税)／TEL：03-3817-5657

■論文執筆マニュアルとして定評のある American Psychological Association の Publication Manual の最新版。改訂の中心は、IT の技術革新に沿った学術研究の構想や実施、そして研究成果の利用方法の変化を反映した点にある。作業手順に沿った内容の再構成、倫理的配慮、オンライン補足資料の利用と作成など、電子媒体を意識した重要事項のチェックリストを収録。



疾病論 第2版

人間が病気になるといこと

著：井上 泰／医学書院

定価：3,360 円(本体 3,200 円＋税)／TEL：03-3817-5657

■“むずかしいことをやさしく、やさしいことを深く……”，故井上ひさし氏のポリシーを胸に、若い人に疾病の成り立ちの“理解”を伝えたいという情熱が結実。血液・循環器・呼吸器・消化器・腎／泌尿器・内分泌／代謝・中枢神経・膠原病／自己免疫の8章において、新しい知見を示し、「病期を担った患者さんの日常風景をより深く書き込む」という改訂目標を達成した、待望の「疾病論」。

看護のための人間発達学 第4版

著：舟島なをみ／医学書院

定価：3,150 円(本体 3,000 円＋税)／TEL：03-3817-5657

■初版刊行から15年、時代の変遷、医療を取り巻く環境、法律等の変化や新たに生まれる事象を反映して、第4版を重ねた。病院・施設、また在宅で療養する人たちに寄り添う看護職が、対象とする患者の社会的背景を考慮し、その人の生き方やライフサイクルとそのステージを視野に入れることの意義とは。発達段階を縦糸に、先人の確立した学問体系を横糸にして論を展開する。看護職を志すすべての人に。





わざ言語

感覚の共有を通しての「学び」へ

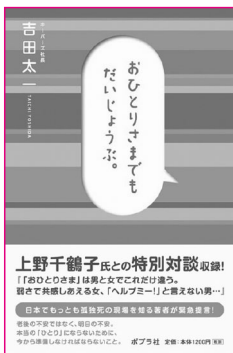
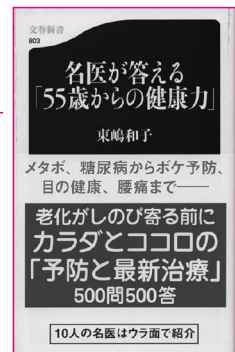
編著：生田久美子・北村勝朗／慶應義塾大学出版会
定価：3,675 円(本体 3,500 円＋税)／TEL：03-3451-3584

■伝統芸能、スポーツ、人への援助職といった世界で、第一線の指導者や実践者が「わざ」を後進に伝えるとき、言語はどういう役割をもつのだろうか。5 人の語り手たちのもつ「わざ言語」は、それぞれに曖昧であり、共通して感覚の共有を目指し、そこに「学び」が成立する。表現されるのは、ときに身体の使い方であり、心の持ちようであり、そこには「わざ」の奥行きと豊かさが、脈々と息づいている。

名医が答える「55 歳からの健康力」

著：東嶋和子／文春新書
定価：840 円(本体 800 円＋税)／TEL：03-3265-1211

■身体的に無理が利かなくなったと自覚する人の多い「55 歳からの健康力」。不安や疑問に答えるのは、メタボや糖尿病からうつ病や依存症、アンチエイジングなど 10 の領域の名医たち。中高年が、「病院に行ったほうがいいだろうか？ 行くほどではないだろうか？ 放っておいてもいいだろうか？」と、聞くに聞けない健康上の 50 の質問を医師たちに問う。「ミドルエイジクライシス」に福音の書。



おひとりさまでもだいじょうぶ。

著：吉田太一／ポプラ社
定価：1,260 円(本体 1,200 円＋税)／TEL：03-3357-2212

■遺品整理屋という、珍しくも、尊い仕事をする著者による、「よりよい生をまっとうしていただくため」の手引き(「おわりに」より)。数多くの——おそらく誰よりも多くの——孤独死を見てきた著者が、ほんとうに自立した大人＝おひとりさまとして生きようと呼びかける。『おひとりさまの老後』の著者、上野千鶴子氏との対談は圧巻。「ひとり死」は孤独死とイコールではない。一読を！

看護覚え書

看護であること 看護でないこと 改訳第 7 版

著：フロレンス・ナイチンゲール／訳：湯楨ます他／現代社
定価：1,785 円(本体 1,700 円＋税)／TEL：03-3203-5061

■看護の思想の原点であり、看護職の拠り所として存在する“Notes on Nursing”。その日本語版として親しまれてきた本書も、第 7 版を数える。「看護とは、新鮮な空気、陽光、暖かさ、清潔さ、静かさなどを適切に整え、…(中略)…食事内容を適切に選択し適切に与えること……」、多くの看護職がそらんじるこの言葉を遺したナイチンゲールと、訳を遺した諸先輩に敬意を捧げたい。

